

# 神樹の会会報

No. 51  
平成12年7月14日

発行所：神樹の会  
発行人：宮脇 テル子

本部事務所 (六甲作業支援センター内) ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

明芳デイサービス ☎735-8835  
〒654-0024 神戸市須磨区大田町6-4-4

福祉の店「いたやど」 ☎733-2477  
〒654-0022 神戸市須磨区大黒町2-2-12

たおじ作業所 ☎987-2532  
〒651-1312 神戸市北区有野町有野字白原3689

六甲作業支援センター ☎821-1533  
〒657-0037 神戸市灘区備後町3-2-22

ゆめの作業所 ☎578-3539  
〒652-0041 神戸市兵庫区湊川町8-4-10

垂水作業支援センター ☎782-9675  
〒655-0006 神戸市垂水区本多町7-2-3



## 共に生きる輪をつよく！ 「ハンド・in・ハンド」

平成十二年度神樹の会総会が去る六月十一日(日)午後一時三十分より、神戸市勤労会館にて開催されました。  
各報告事項、新年度役員改選の後、法人格取得や会費の値上げ等大きな提案があり、熱心に審議されました。下記のようなごあいさつを各氏よりいただきました。

### 「すすむ福祉計画」

神戸市保健福祉局参与 藤井 良三

神戸市では、平成十二年度に中部在宅障害者福祉センターにおいて重症心身障害児(者)通園事業を、吾妻小学校跡にあづまデイサービスを三十人登録で始めています。小規模作業所も今年度十二か所の増設を認められています。平成十三年秋を目指して市で初めて重症心身障害児施設を立ち上げますが、これは福祉施設というより医療施設的な要素が強いものです。後期計画にある二か所の療護施設のうちの一か所について、神樹の会から強く要望が出されているので、神樹の会から出されるご相談をお聞きしながら研究していきたい。現在、平成十四年度からの新しい障害者福祉計画を作成すべく準備に入っています。これから入所施設の整備は難しくなるので国にどの様に要請していくかが課題となります。社会福祉基礎構造改革で契約、サービスの質の確保等新しい考え方に変わってまいりますので、これらが次の障害者福祉計画に反映されるよう、神樹の会等団体の意見を聞きながら、すすめてまいりたい。

### 「二十一世紀に向けて」

神戸市立垂水養護学校長 本田 亘

神樹の会も今年度は大きな課題を抱え、療護施設建設に動き出そうとしています。学校教育は平成十四年に導入の週五日制に向けて学習指導要領が改定され、それに先駆けて総合的な学習の時間や自立活動の時間が設定されます。自立活動は従来の養護・訓練で培ったものを基本として子どもたちが生きる力をつけるにはどのような教育課程を組めば良いのかを考えていかななくてはなりません。過日、小児神経学会が大阪で開かれ、養護学校など「学童児の療育をどのように支援するか」というテーマで全国から医師や関係者が集まり討論しました。今日、肢体不自由養護学校において大きな課題である医療的ケアに関心が寄せられています。今後、卒業生が生き生きと生活できる場を設定するために、神樹の会のますますの発展を祈念いたします。

### 「みんなで大きなうねりを！」

神樹の会会長 宮脇 テル子

四月から公的介護保険が始まり、社会福祉事業法が可決され新しい福祉時代が始まりました。しあわせの村に重症心身障害児施設(神戸市では始めて)が建設されます。神戸市の後期計画に療護施設が二か所建設と発表され、一か所は伊川谷に、もう一か所は未定です。介護保険が若年に適用されると、私たち神樹の会のような無認可の団体では会員の要望に答えられない時期にきています。お陰様で両校の先生方のご指導、親の熱意で三十年間順調に運営されて参りました。今の変革していく福祉状況の中でハンドルの切り間違えないように、三十年の伝統ある神樹の会をより良いものに発展させていきたいと願っています。

### 「これからの障害者福祉」

神戸市市会議員 藤原 武光

介護保険がスタートして高齢者デイサービスに障害者が一緒に利用するようになったが、高齢者と障害者は必ずしも一致しないので、デイサービスのあり方を研究工夫しなければならぬ。若年障害者対象の介護保険が二〇〇三年四月からスタートする。小規模作業所の規制緩和が行われ、任意団体が運営するのが全国で五千ほどある。今後は小規模作業所の法人化が可能となる。学校においても週休二日になるが、休日は地域でどう受け入れられるか、受け皿が難しいテーマとして残る。普通校では総合学習時間が導入されている。

会員総数	722
出席者	65
委任状	424
計	489

### 感謝

平成12年5月までに、次の方々より尊いご寄付をいただきました。

- ・兵庫県職員歳末義援金
- ・谷 良子様



総会の様子

### 平成12年度重点目標

1. 会員相互の絆を強め、共に生きる輪を広げよう
2. 身体障害児(者)の地域社会への参加と交流
  - ① 事業の確保・拡充
  - ② 療護施設の早期実現
  - ③ 重症心身障害児(者)施設の建設促進
3. バザー活動の発展と充実

### お知らせ

☆助成金をいただく  
平成十二年度社会福祉法人「新日本友の会助成金」を申し込んでいたところ、コピー機購入費として五十万円いただきました。  
☆会費改正  
会費(年会費)が二千円から三千円に改正されました。  
☆第29回神樹の会バザー  
十月二十六日(木)、二十七日(金)神戸ハーバーランドスペースシアター

総会において、長年にわたって  
本会の重点目標に掲げられてきた  
療護施設建設の件に関して提案が  
なされ、夢の実現に向けて可決を  
得ることができた。又、現在の任  
意団体のままでは会員の要望やニ  
ーズに應じることが難しくなっ  
てきている現状から、法人化するこ  
とにより本会も新しく進展する運  
びとなった。

かつて三十年前に、肢体不自由  
児の進路・しあわせを願って創設  
された本会のご父兄たちや、その  
後引き継いできた親たち・賛助会  
員の先生方の思いも一入であるう  
と察せられる。

療護施設建設に向けて、まさに  
歩み出そうとしている時、会の未  
来を信じて一人ひとりが真剣に取  
り組んでいきたいと願う。

(今号から五十三号まで三回シリーズ  
で、より具体的に、より多くの会員  
から夢や思い・声を取り上げ  
ていく予定です。)

### みんなの願いを

#### かなえたい!?

- 音楽ホールがあれば良い。
- 音楽療法的なことができたり、地域の  
ブラスバンドなどが来てくれたり。
- 入居者一人ひとりが自分の家にいる感  
覚を大切に、あまり規則にとらわれ  
ないゆったりとした生活が出来ること。
- 夜寝る所と昼間過ごす所を分ける。
- 医療体制が整っている。
- 街の中であって外出等がしやすく施設  
の中だけで過ごすのではなく、老人子  
ども等と交流が出来ること。
- 本人が生きがいとなる楽しみを見いだ  
せること。
- 施設見学をした時、入所すれば何もす  
ることがないのではと不安を感じた。
- 部屋をいろいろな仕様にしてほしい。  
例えばタタミでベッドを低くとか。
- 実現出来るのなら、一つでも多くの施  
設見学をして、よりよいものを作って  
いこう。
- すべてが施設のお仕着せでなく、個々  
の能力を引き出し育ててほしい。
- 費用がかかっても充実した施設を。
- 障害の重い人から入所させるように。
- 各地域に青年の暮らしの場にふさわし  
い、ゆたかな取り組みがあるデイサー  
ビス事業を展開してほしい。
- デイサービス事業の中に宿泊訓  
練を、療護施設の中にショート  
ステイやレスパイトなど多岐  
にわたるみんなの願いを是  
非実現したいですね。

### よろしくお願いします

神戸市立友生養護学校長 岡田 孝久

本年4月に神戸市立兵庫商業高等学校より着任いたしま  
した。養護学校の勤務は初めてですが、教職員と力を合わ  
せて、みんなが「友生に来てよかった」といえる学校づく  
りに努力したいと思っています。  
21世紀を前に障害児教育の諸施策も以前に比べてかなり  
改善・充実されてきましたが、進路問題は大きな課題とな  
っております。神樹の会の諸活動がその課題に対して学校  
の大きな支えになっていることに感謝しております。  
今後とも子どもたちのためにご支援ご協力をいただきま  
すようお願い申し上げます。

### 新役員 紹介

平成十二年度新役員が次のように決まりました。  
友生養護学校の田中等校長の後任に岡田孝久校長が着任されました。

顧問	水野 整一	岡田 孝久	事務局	小野 治子
相談役	本田 亘	池田 稔	局長	北脇 貞子
	足立 梅雄	高内 恒夫	庶務	前川登美子
	長谷川隼彦	石川 敬	幹事	西村 洋子
	山田 福松	安原 實	OB	中野 紀子
	田中 等	原田 由雄		堀川 房子
	北郷 賢治	高井 寛		米沢登美子
	北 義和	望月 秀雄		百道 泰子
	堀川 静子			大川 民子
	宮脇テル子			大橋 敬子
会長	牧野 一夫			大橋 了子
名誉会長	谷 良子			鈴木 邦子
副会長	西原学左子			池田 恵子
友生養護学校代表者	友生養護学校代表者			西村美絵子
垂水養護学校代表者	垂水養護学校代表者			林 暁子
会計	日高美恵子	李 晴美		庄司百合子
	池田 恵子	清水 和代		久本 春子
	吉本 裕子	大橋 敬子		伊藤 陽子
	伊藤 照子	松岡 幸代		引野 洋一
	進元 文枝	根岸 初美		白石 節子
	山本 英子	高木 恵子		渋谷 博
		谷口 成子		小泉 公子
		黒田素美子		林 位知子
		石倉 旬子		西原学左子
				辻野 富貴
				堀之内広美
				伊藤 弘海
				西垣 幸夫
				土居美千代
				吉岡佑起子
				山内 妙子
				進元 文枝
				植田 洋子
				山下 香美

### 訃報

平成十二年四月に、中川 昇様(昭和五十四年度  
垂水養護学校卒)が亡くなられました。心よりお悔  
やみ申し上げます。

入道雲が立ち上がる季節となり  
ました。会員の皆様いかにお過ごし  
でいらっしゃいますか。会報五十一  
号をお届けします。会も大きく動  
うとしていきます。今後ともよろしく  
ご協力お願いいたします。

(宮口 伊藤 石倉 坂出 日高  
矢野 大住 小野 宮脇)

### 卒業してから

北脇 一

ぼくは、卒業して十二年になります。二年間  
は六甲作業所へお母さんといっしょに、週二回  
行かせてもらいました。火曜教室では絵を教え  
てもらいました。

東部デイサービスが出来てからは、作業所を  
やめて東部デイサービスに行き、松ぼっくりに  
も一日行きました。お友達やたくさん先生の



### おとがき

